

2008 年度

科目名 マスコミ論 A	対象学科・学年 文学 1 回生 教育 1 回生 人間 1 回生	担当者 小川 丈治
授業テーマ 映像の見方・描き方		
授業の概要と目標 「マスコミ論」は新聞、雑誌、放送、映画などのメディア（Media=媒体）を通じて、大量の情報を不特定多数の人々に伝える行為(Mass Communication=マスコミュニケーション、略してマスコミ)を論じる学問です。この情報を表現する手段は、以前は言語が主でしたが、最近は映像に比重がかかっています。学校では言語（日本語、外国語）の勉強はしてきましたが、映像の見方や描き方の勉強はなおざりです。これではいけません。講義では映像に焦点を当て、映像教材を多用して説明します。		
評価方法 採点は学年末のレポート内容 70 点、出席日数 30 点で計算します。		
テキスト 指定しません。毎回プリントを配付します。	著者	出版社
参考書 講義のたびに紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 序・講師の自画像(VIDEO) (講師は元 TV ディレクター) 第 7 講 脳の中の映像と言語 第 8 講 映像と言語の比較 <映像の歴史> 第 9 講 映像表現法① (撮影) 第 10 講 映像表現法② (編集) 第 1 講 現代の代表的マスコミ 「新聞と放送」概観 第 2 講 映像の時代の意味 <映像表現の害と利点> 第 3 講 歴史－絵画から写真へ 第 11 講 ナチスと映画 第 4 講 歴史－動く映像の発明 第 12 講 嘘つき映像の歴史 第 5 講 歴史－初期の映画 第 13 講 米国の政治と TV 映像 <映像の表現の特徴と技法> 第 14 講 映像との付き合い方 第 6 講 映像認知の仕組み		
<注意>「マスコミ論」を 2 単位だけとる人は、なるべく「マスコミ論 A」 (前期) を履修して下さい。B (後期) は前期の講義の応用編的内容です。		